

第4の審判員の役割

(一社) 長野県サッカー協会 審判委員会

1. 主審、副審の控え審判
2. 交代の援助
3. ベンチコントロール
4. 負傷者への対応
5. 記録をとる
6. ボールの管理
7. アディショナルタイムの表示
8. その他の援助

1. 主審、副審の控え審判

主審か副審が職務を執行不可能とされたときの為のリザーブ審判になります。このとき第4審判は主審と副審のどちらに入るかはその試合または大会の主催者が決めることになっています。

2. 交代の手続き、用具のチェック

交代はできる限りスムーズに正確に行う。

その為に両チームの交代要員の動向に注意を払う。(事前の準備)

- ◇ 交代用紙とメンバー表に記載されている内容の確認、競技者の用具(装飾品も含む)の確認を行う。
- ◇ 交代ボードには退出する競技者の番号を表示。(電光掲示板の場合、入退場の両方)
- ◇ 準備ができれば前方に移動し主審に合図する。退場する競技者がフィールドの外に出てから主審の合図で入場させる。

3. ベンチコントロール

ベンチ内の交代要員、交代で退いた競技者、監督、その他役員に責任ある態度で行動させる。

- ◇ 審判員の判定に異議を言わせない。
 - 重要な発言内容＝「何分に、誰が、誰に対して、何と言ったか」対象者の確認および発言内容を聞き漏らさない。
 - 発言内容にもよるが、口頭で注意→主審(もしくは副審)に合図(合図するときは退席処分もしくは退場を行う事象と判断する)→退席処分・退場
 - 些細な発言内容＝単発的に発した異議に対しては、落ち着かせるよう促す。(口頭、ジェスチャーなど)無視はしない。
 - 必要以上に神経質にならない。言葉遣いに注意し、必要以上に対峙しないよう注意を払う。
 - 戦術的な指導に関して、2人以上の役員等が同時に行うこと(通訳の同伴は別)などを監視する。テクニカルエリア内に留まっている場合でも、責任ある態度で行動させるよう監視する。
- ◇ ベンチ外での競技者および役員等の監視
 - ウォームアップエリアで戦術的指導をする交代要員を監視する。
 - ウォームアップをせずゲームを見守る交代要員はベンチ内に着席させるよう役員に注意する。
- ◇ ベンチ内外でジャージー等を脱いでくつろいでいる競技者に対して注意する。
- ◇ 交代して退いた競技者が引き続き、ビブス等着用しない場合は注意をする。

4. 負傷者への対応

試合の流れをスムーズに行う(目配り)

負傷した競技者は必ずしもボールの近くにはいない。

- ◇ 負傷者が出た時
 - ハーフウェイライン付近まで出て、主審からの指示を待つ(担架要員に準備を促す)

- 担架要員は最短距離で入場できるよう待機させ、第4の審判員の指示で入場できるよう指示する。(ゴールラインに近い場所など)
- 主審の指示により、担架要員とドクター等(2名以内)もしくはドクター等のみ入場の許可をする。
- ◇ 第4の審判員の援助として、負傷した競技者の止血の確認および復帰の準備が完了した旨を主審に合図する。(血液のついた衣服を着て復帰することは認められていないため、着替えるか、洗浄するよう注意を促す)
- ◇ 担架要員とは試合開始前に打ち合わせを行う。ゲームウォッチャーにならない、負傷した競技者を搬出後直ちに所定の位置に戻る、注意を促す。

5. 記録をとる

主審の任務と同じ内容を記録することで援助する。

- ◇ 記載内容(第4の審判員メモを活用)
 - 得点の経過、交代の記録、警告・退場(時間、チーム名および番号、警告か退場か、理由フィールドの位置、退場の場合は相手チームの選手の番号)
 - 注意を与えている競技者のチームと番号および位置(繰り返しの対応)、アドバンテージの採用時に警告のシグナルが出された場合、チームと番号および位置(次のアウトオブプレー時に主審が忘れた場合の対応をスムーズに行えるよう配慮する)
- ◇ 記入するタイミングは主審および両副審の後で行う。それまではフィールド内を監視する。
- ◇ ハーフタイム、試合終了時に主審および両副審と確認する。

6. ボールの管理

試合の流れをスムーズに行う(目配り)

- ◇ 主審の合図で予備のボールを再開位置に向かって手で投げ入れる。(決して蹴らないよう注意する)
- ◇ マルチボールが採用された場合、ボールパーソンとは試合開始前に打ち合わせを行う。フィールド内にボールが2個以上入らないよう注意を促す。

7. アディショナルタイムの表示

- ◇ 表示する時間は分単位「0分」は表示しない。
- ◇ 交代などで終了予定時刻より15秒以上遅れた場合は、表示せず両ベンチに口頭で伝える。
- ◇ 試合終了間際で、表示を見てもらえるタイミングに表示することが望ましい。(悪いタイミングとは、コーナーキック、得点を狙える位置でのFK、PKの場合、その他得点の機会時が該当する)
- ◇ 交代時、負傷者の対応を優先する。

8. その他の援助

主審を援助することによりゲームコントロールを行う(目配り・気配り)

- ◇ 主審が2枚目イエローなのに退場させていない、警告・退場の選手を間違えているとき、再開方法が間違っているとき、副審もしくは直接主審に合図をする。(最悪、声掛けでも良い)
- ◇ 主審、副審の見えていないところで起こった不正行為やその他の出来事を主審に知らせる。(警告に値する場合は、次のアウトオブプレー時に、退場に値する場合は、アドバンテージを考慮に入れ、副審もしくは直接主審に合図をする。)時間、位置、チーム、番号、事象を正確に伝える処分は主審の判断)